



外国出張報告書

平成27年9月1日

1. 出張国名 アメリカ
2. 出張月 平成27年5月～6月
3. 出張目的 第18回国際土壌保全会議(ISCO18)参加および土壌保全に関する情報収集：A

4. 成果の概要

アメリカテキサス州エルパソにおいて5月31日から6月4日にわたって開催された第18回国際土壌保全会議(ISCO18)において、気候変動対応プロジェクトの担当課題で得られた成果を口頭発表した。出張者は、エチオピア国ティグライ州における緑肥作物の選抜試験栽培結果から、土壌へのバイオマス付加の観点より3種(Fababean, Lupin, Vetch)のマメ科植物が有望であることを確認した旨発表を行った。またエチオピア国メケレ大学の研究者を同会議に招へいし、共同研究課題である土壌への炭素隔離に関し、調査対象村における土壌の有機炭素量モニタリングの結果から、その季節変動と季節変動の要因について発表を行った。併せて、会議他プログラムに積極的に参加し、近年の研究動向等について情報収集を行った。